

8. 開設授業科目

(1) 看護学専攻

※講義日程は変更となる場合があります。

授 業 科 目 名	単位数	履 修 期 間			担 当 分 野 ・ 教 員 名 及 び 科 目 の 概 要
		前期	後期	通年	
薬 理 学	2		○		【薬物動態学 安原 真人教授】 薬理学は薬物を生体に与えたときの吸収、生体内分布、生体内変化、排泄などを研究したり、薬物が生体のどんな機能にどのような影響を及ぼすかを、臓器、組織レベルや、細胞レベル、あるいは分子レベルで研究する学問である。薬物治療は医療の中で特に重要な位置を占めており、薬物に関する正しい知識を身につけることが重要である。
栄 養 学	1		○		【健康情報分析学分野 佐藤 千史教授】 人間はエネルギーを外部から取り入れ、体内で利用して活動している。この過程を解明する学問が栄養学である。代謝や消化吸収などは生化学や生理学の対象となるが、ここでは栄養素がどのようにして体内に入り利用されているのかを学ぶ。健康保持増進、疾病予防の上で重要であり、一方で病気における栄養のあり方（病態栄養学という）を考える上で重要である。本講義の目的はこれらを総合的に理解し、その基礎および臨床応用について学習することである。 履修条件：生化学・生理学を履修した者
精 神 看 護 学	2		○		【精神保健看護学分野 宮本 真巳教授】 精神看護の前提となる精神医学的な知識と治療方法について学ぶと共に、その内容を看護学の視点から再構成する。
小 児 看 護 学 演 習 I	1		○		【小児・家族発達看護学分野 広瀬 たい子教授】 多様化しつつある子どもの環境および生活の中で、小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し、必要なケアと技術を学習する。
在 宅 看 護 学 I	1		○		【在宅ケア看護学分野 本田 彰子教授】 保健医療福祉の中での在宅看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解することを目的とする。具体的には、訪問看護ステーションを中心とした訪問看護について、その概念、看護の特徴、取り巻く仕組み、関連する職種等とのチームアプローチ等の理解を深め、実際の対象となる人々の特徴を理解した上で、高齢療養者・医療依存度の高い療養者・終末期療養者・精神疾患を持つ療養者への看護の展開を概観する。